

## レリーチ (Lerici) / サン・テレンツォ (San Terenzo)

先週のポルト・ヴェネーレの印象が残っているうちに、東リヴィエラの同じ地域にあるリゾート地のレリーチに行ってきました。レリーチと東隣にあるテラッロという名の村は「最も美しい村」に推薦され、レリーチは更に「小さな街・村」にもダブル推薦されています。今回はテラッロまでは足を伸ばさずにレリーチとその西隣のサン・テレンツォを訪れました。レリーチは、先週と同様にラ・スペツィアから路線バスで、30-40分ほどのところで、サン・テレンツォはレリーチのひとつ手前です。レリーチとサン・テレンツォは一つの湾の中にあり、湾を形成する両端にある半島の突端にはそれぞれに城があります。その二つの城を結んだ海岸線には約2キロの遊歩道があり、海岸線をのんびりと散策できるようになっているので、潮風を浴びながら気持ち良い散策が出来ます。

サン・テレンツォもテラッロもレリーチのコムーネに属しています。従って、レリーチは人口10000人を超える大きな街です。このあたりの観光客の集積地ですね。レリーチの港からはポルトヴェネーレやチンクエッテレに行く観光船も1時間間隔で出ています。



レリーチもラ・スペツィアと同様にジェノヴァとピサの争いの中心地でした。レリーチ側にある城、サン・ジョルジョ城は13世紀にピサによって建てられたと言われています。この城が書き物に出てくるのは14世紀初頭で、その時はジェノヴァ共和国の防衛拠点でした。ピサに限らずサラセン人の海賊にも襲われることがあったようで、海から来る敵に対して、サン・テレンツォの城とサンジョルジョ城がこの地域の防御にあっていたことは想像に難くありません。

今回は、ラ・スペツィアから真直ぐバスでレリーチに行きました。このあたりは観光地ですので、バスは日曜・祝日でも普段の日と同等又はそれ以上の本数があり便利です。レリーチの中心であるマルコニ広場に到着したのはまだ11時前ですが、好天気にも恵まれ既に観光客でいっぱいでした。ポルトヴェネーレと同様にこのあたりの海はとてもきれいです。港には数多くのヨットが停泊していて、既

に、数十隻のヨットが海に漂っていました。港の広場は観光客であふれて活気がみなぎっています。



サンジオルジョ城にも当然ながら観光客が流れています。サンジオルジョ城は丘の上にありますので、そこへは細い道の路地を登らないといけません。今回の登りは、0.8ユーロを払ってエレベータを使用しました。やはり、楽ですね。お城の上は非常にすがすがしく素晴らしい気分になしてもらえます。もちろん、城の上からの景色は素晴らしく。青い空と青い海、レリーチの街並みとその後ろの山々が一望できます。防衛の目的で建てられた城の構造は複雑で、当然ながら見晴らしの良いところがいいくつかに分かれています。全部から景色を見てきました。サンジオルジョ城の入場料は5ユーロです。城の中には礼拝堂があるだけで、その他の部屋は恐竜の博物館になっていますので、どちらかと言うと子供向きです。でも、周りの景色を見るだけでも5ユーロの価値はあります。





サンジョルジョ城から降りる時は、お城の裏にある民家の脇を通る細い路地に沿って下まで降りました。路地のわき道はこのあたりに住んでいる人が使っている路地裏ですので、ここの生活を感じることが出来ます。観光地の裏の路地裏にはなんとなく興味がわいてきます。



さて、広場に戻り食事をして体力をつけた後、遊歩道をサン・テレンツォに向かって歩き始めました。きれいに整備された遊歩道はこの2つの街を行きかう観光客でいっぱいでした。途中で浜辺があり、そこでは夏を待ちきれない人たちが海水浴をしていました。ほとんどの大人の人々は日光浴ですが、12時半を過ぎて気温も上がったせいか元気な子供たちはもう海に入って波遊びをしています。もちろん、大胆な水着の女性も多く見かけました。久しぶりに目の保養も出来ました。





周りの景色を見ているうちに、まったく疲れることなく城の見えるサン・テレンツォの街に着きました。サン・テレンツォの街の前の海岸も砂浜で、ここにもたくさんの海水浴客があふれていました。水着の人とセーターを着ている人が混在している浜辺は、見ていてなんとも奇妙です。海岸通りのジェラート屋もこの日は大繁盛で、たくさんの観光客がジェラートを片手に歩いています。どちらかと言うと、海水浴はサン・テレンツォでヨットはレリーチのようです。サン・テレンツォの城は、レリーチのサンジョルジョ城よりは小さいのですが、ここも半島の突端にある丘の上に建って海を睨んでいます。ここも城の中に入ることが出来ますが、レリーチと違って昼休みがあり、午後は3時からになっていましたので今回は城の中に入っていません。



帰りのバスはサン・テレンツォから乗りました。この日（4月5日）から夏の時刻表が採用されて、休日ですが15分間隔でラ・スペツィアへ向かうバスが出ています。平日よりも多くなっているのは、さすがにイタリアン・リヴィエラです。いつも行く小さな村の観光地とは大違いです。サン・テレンツォからラ・スペツィアまでは約30分かかります。今回は余裕を持って、ラ・スペツィアには予定していた2時40分のICの20分前に到着です。本当に気持ちの良い一日でした。

今回も、早起きをしてロゴレド7時12分発のICでジェノヴァ、ローマ行きのICに乗り換えてラ・スペツィアまで行き（25.5ユーロ）、帰りも先週と同じ直通IC（22ユーロ）でミラノ中央駅に戻りました。ラ・スペツィアからのバスは片道が1.15ユーロで、チケットはラ・スペツィアで祝日も開いているタバッキを見つけて購入しました。でも、バスの中で購入している人も数人見かけたので、チケット無しでも乗れたのですね。